

委員会報告

総務文教常任委員会

7月19日に委員会を開催。7月18、19日の集中豪雨による被害状況の報告を受け直ちに対応策の検討を行い、早期の復旧計画を審議する。

また、学校園における被害については、学童の安全と安心を旨に最大限の努力を促して当局の説明を可とした。

8月1日、旧神河中学校跡地整備事業については、廃校後の年月も相当経過しており、有効利用すべく協議しているが、今回ネットフエンスの設置、グラウンド表面整地を行い、市民利用型の多目的広場として活用したい旨の当局からの説明を受け、委員会としては、種々内容を検討して早期完成を促し可とした。

また、公共事業の郵便入札



結果検証について、予定価額の事前公表と事後公表との落札率格差は殆どない。

入札執行に係る事務手続きが簡素である。入札会場に参加義務がなく業者負担が軽減される。等のメリットが強調され当分の間、現行制度を続ける中で新たな入札制度を確立したいとの当局からの説明を受け委員会は充分なる内容を模索し実施すべきものとした。

産業建設常任委員会

7月19日に委員会を開催

18年度国、県に係る事業関係実施計画について当局の説明を受ける。国道関係では、歩道設置を船元地内ほか5箇所、河川関係は今宿、中広瀬地区を19年度事業として認可の準備をしている。県道関係は、山崎市民局管内で6路線10箇所、一宮市民局管内で2路線4箇所、波賀市民局管内2路線、千種市民局管内で1路線、くらしの道は山崎、一宮、千種管内の7路線で計画されている。

河川関係は、横野川砂防事業を始め急傾斜地崩壊対策事業、河川整備事業等6箇所が山崎管内、戸谷川砂防事業ほか急傾斜地崩壊対策事業等5箇所が一宮管内、大榎川、櫻ノ谷川の砂防事業と河川護岸整備等が2箇所の計4箇所が波賀管内、千種管内は寺谷川、西山川の砂防事業、河川維持工事が実施される。これらの説明を受け、当委員会は、早期着手、早期完成を強く求め、全てを可とした。

8月23日開催
梅雨前線豪雨に伴う災害現地調査、幹線林道2路線、市道2路線、農地2箇所を視察、各災害被災状況を極め細やかに調査、早期の原形復旧を強く当局に働きかけると共に、2次災害の防止に万全を期すよう当局に求めた。

民生生活常任委員会

7月28日当常任委員会は第35回消防救助技術近畿地区指導会が三木市、兵庫県広域防災センターで開催され視察。

穴粟消防本部より、救助隊長以下6名が競技に挑戦、口ブブリッジ渡過に2名、口ブブリッジ救出に4名が出場、日ごろの訓練の成果を発揮して優秀な成績を成し遂げられました。

8月21日当委員会は医療制度改革の概要をはじめ、穴粟市妊婦後期健康診査補助金交付要綱等の概要説明を受けながら疑問点を投げかけ、制度

改革の必要性を問いただした。また、JAハリマ葬祭会館の概要説明を受け、今後の運営について種々の質疑がなされ、会館としての資質向上をもとめた。

8月30日当委員会は本年7月にオープンした県立西播磨総合リハビリテーションセンター、県立粒子線医療センター、スプリング8の視察を行った。県立西播磨総合リハビリテーションセンターは、全県拠点施設として、増大かつ多様化するリハビリテーションニーズに対応するための施設で、各自、身体の機能に合った器機が完備しており安全安心の患者本位の医療が提供される専門センターである。

新庁舎に関する調査特別委員会

8月4日・9月に3日間に亘り、穴粟市財政計画・庁舎建設規模・設計委託業務・特に市民と協働による新市創造のための中核施設とすること等について、広い視点から多項目に涉り質疑、明解なる当局の説明を求め議論を深めた。

市民の理解を得る為に、新庁舎建設市民委員会の意見も尊重し、また市の将来像も充分考慮した庁舎である事を望むものです。

第13回穴粟市議会定例会日程（予定）

【会期】平成18年12月8日(金)～平成18年12月22日(金) / 15日間

月日	曜日	本会議	委員会	説明
12月8日	金	本会議		決算特別委員会委員長報告・質疑・討論・採決 各議案・上程・質疑・各常任委員会付託
12月11日	月	休	委員会	各常任委員会
12月12日	火	休	委員会	各常任委員会
12月14日	木	本会議		一般質問
12月15日	金	本会議		一般質問
12月18日	月	本会議		一般質問（予備日）
12月22日	金	本会議		付託案件委員長報告・質疑・討論・採決

